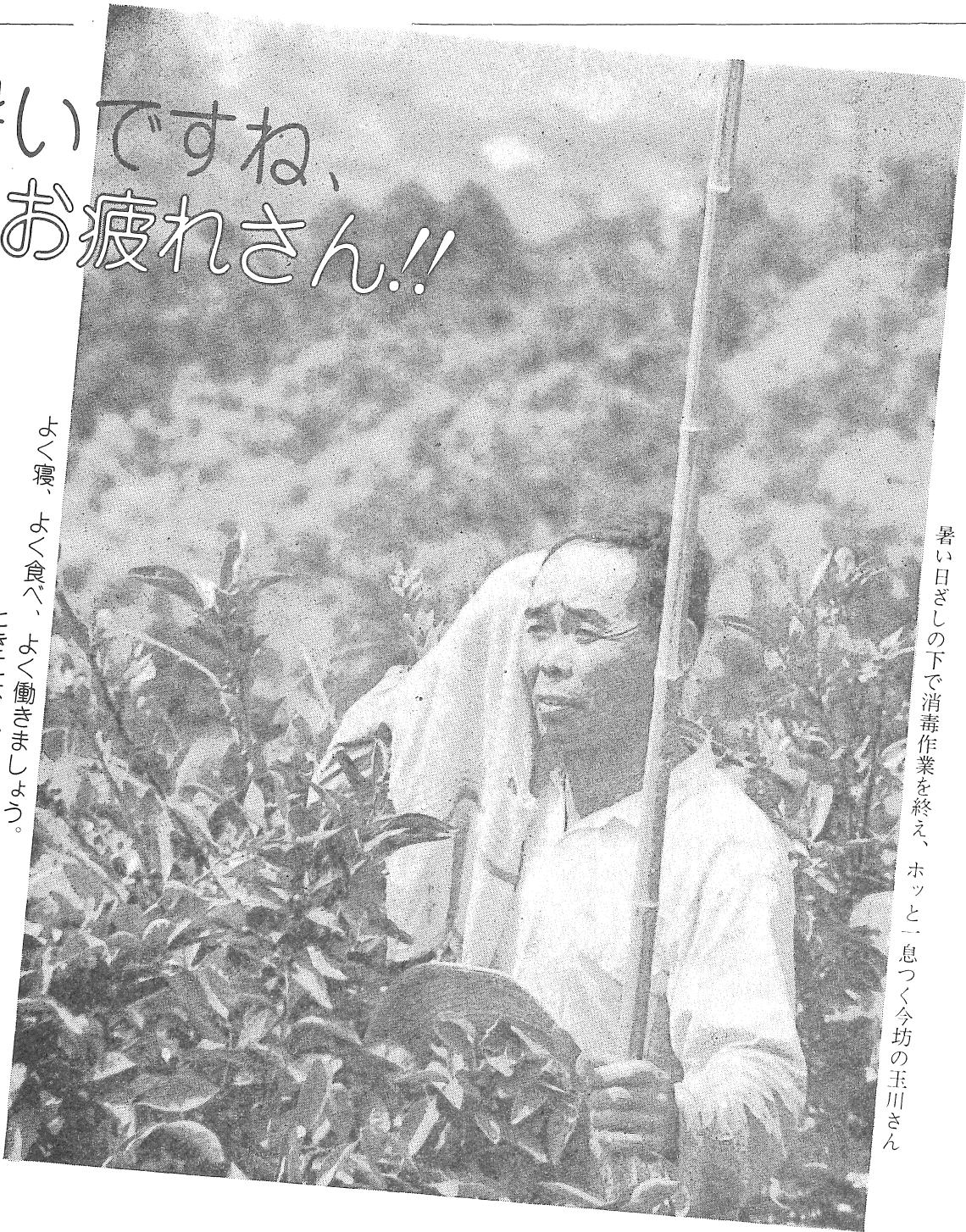


広報 ながはま 7月号

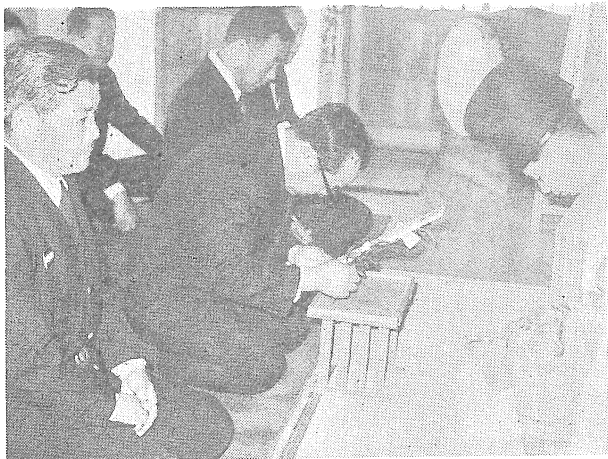
暑いですね、
お疲れさん!!



暑い日差しの中で消毒作業を終え、ホッと一息つく今坊の玉川さん

暑い日差しの中で消毒作業を終え、ホッと一息つく今坊の玉川さん

「家族連れで海遊びなども…」



町長にいただくお札を、除火災司から宮司、武智を兼ね、このお札は、消防係ら毎日手合わし、祈願祭が六月二日に住吉神社で行

神様にも一役……

「人力でおよばぬところは神様に」ということで、ことしも防火祈願祭が六月二日に住吉神社で行

2んにち

読者 登場

▽：戦時中、欲しがりませぬ勝つまでは、と教育され戦後の物質不足時代をいやというほど体験した私にとって、最近この繁栄ぶりには、真の豊かさといえるのだろうかと考えたとき、そろそろ恐ろしくなって参ります。消費者は王様と、おだてられ使い捨ての時代などか気の速くなるようなことは平気で使われておりますが、物資が豊富になると反対に物を大切に心が失われ、てゆくような気がいたします。

▽：幼い時分物を粗末にするとバチがあた

暮し見直すとき 物、生かして使おう！



池田 蓉子
(49歳)
出海・農業

れでよいのだからかと考えさせられます。そしてこれを捨てた人は「もののいのち」

と母に言われたものでしたが、このごろ部落のゴミ捨て場にまだもったいないような品物が捨てられてあるのを見るたびに、こ

というものを考えてはいるのだろうかと思ふのです。捨てるということは容易であるがその前に物を生かして使うということ

真剣に考えて欲しいと思います。

▽：資源愛護ということばは何も戦時中だけのものではなく、現代の社会にも通用することばなのです。石油ショック以来何もかも物価高騰を続ける現実から逃れることはできません。今こそ皆んなで「くらし」を見直そうではありませんか。より明るくより楽しくより住みよい社会をつくるために……。

(愛媛県生活運動推進員)

議会

第2回臨時会

長浜町議会の第二回臨時会が五月二十九日町体育館で開かれ、上程された九議案が、いずれも原案通り可決されました。可決されたことのおもなものの内容は次の通り。

用地購入費など補正

今年度一般会計に、一億二千八百三十九万四千円が補正されました。

あなたには、祈願の前に「火の用心」……夏でもご注意を……

使役道は、小野田セメント株式

会社に分譲していた晴海の工業用地買戻し費と漁業者向け宅地分譲地購入費に一億一千七百五十六万六千円。町道・須賀込の奥線改良事業費一千一十万円。

身障者か婦など

長浜町条例の一部が改正されこの四月一日から身体障害者、未成年者、高齢者(六十五歳以上)か婦などの納税義務者の非課税所得の限度が十万円アップ、六十万円までは課税されないことになったほか、法人税の確定申告期限の幅が、ケースによっては一か月延長され、「三か月以内」と改められる(ただし延滞金が加算されま

60万円まで非課税

す)など、税および税の納期限などに軽減がはかられました。(なお、このほかの改正点は省略)

軽減基準額を

2万円アップ 国保税

2万円アップ

国保税

地方税法の改正にともなって長

浜町国民健康保険条例の一部が改正され、これまで一人当たり十一万円だった国保税の軽減基準額が十三万円に改正されました。

晴海4920平方メートルの譲渡契約を承認

晴海二番地の十七(雑種地)・四千二百五十五平方メートルを長浜町青果農業協同組合に四千六百八十九万四千円、晴海一番地の五(雑種地)・六百六十五平方メートルを松山市の愛媛ヤンマー株式会社(松山市十五万六千円)で譲渡する契約を結ぶことが承認されました。

請願書を探取

長浜町傷い軍人会・傷い軍人妻

訂正：前月号の三ページ「ま

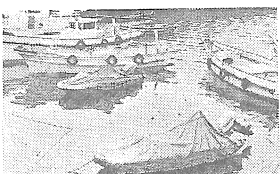
ずまず？」という見出しの記事

中、本庁の町職員数が「八十八

人、住民百五十八人に一人の割合

合…とあるのは「百二十人(教

育委員会など含む。嘱託や臨時職員は除く)で住民百十六人に一人の割合…」の誤り。ご訂正ください。



小型船舶操縦士免許臨時試験日程

と	き	ところ	種別	申請書提出	受付期間
50年7月29日	20	松山	4級	50年7月9日	～50年7月19日
50年8月26日	20	山治	4級	50年8月6日	～50年8月16日
50年9月30日	20	宇和島	4級	50年9月10日	～50年9月20日

エンジン付きの船は すべて免許必要

…近く臨時試験…

船舶職員法の一部が改正され、この十一月二十六日から業務用であれ、また、どのような小型船であれ、エンジン付きの船はすべて「小型船舶操縦士の免許」がないと操縦しては

れません。

このため運輸省では、各地で臨時試験を行うほか、これまで同様毎年二月一日に高松市

で定期試験を行います。

近日中の臨時試験は、近くでは別表の通り行われます。

1人乗りのボートも免許が…

受検ご希望の方は、試験日の二十日前から十日前までの間に「高松市丸の内十一の一・大和生命ビル・財団法人日本モーターボート協会

四国事務所・電話0878-81194」へ。

なお、くわしいことは役場農林水産課へ。

水産課へ。

乳児保育所 なぜはいれぬ

声：ことしの乳児保育所の入所については、商店の主婦など働く母親十五人ほどが入所を断わられたようですが、どうして断わられたのか、その理由がわからず納得できません。

母親の働く家庭で入所を希望する者は全員入所させるべきであると思います。そのために私たちは奨善会の会費をどこのりなく納めています。

聞くところによると、ことしの場合、乳児保育所にはまだ収容能力に多少余裕があるようであり、町民の福祉のために町は希望者を制限せず、全員受け入れるべきであると思います。

入所を断わられた人は、みんな困っておりますので、なぜ入れてもらえなかったのか、理由をみんなにはっきりと教えてください。そして全員受け入れてくださるようお願いいたします。

……商業・三十五歳の町民

お答え：乳児保育所は、公立ではなくて財団法人・長浜奨善会が経営していますが、この運営については、公立保育所に準じた取扱いをしています。

公立の保育所は、児童福祉法に基づき、保育に欠ける家庭の子どものみを保育することになっております。

この児童福祉法は、あくまでも児童の立場に立って定められたものです。したがって、保育所入所についての場合であれば「母親に保育してもらえないから」という児童の立場から、すべて考えられております。

ですから、たとえば子どもさん

が二人いて、一人は学校教育法に基づいて運営されている「幼稚園」に、もう一人は公立の保育所に……といったような場合は、幼稚園にはいるということそのものがその家庭は保育に欠ける家庭ではないということ、公立保育所には入所できません。つまり、言い換えれば、保育に欠ける家庭なら「保育所」ということです。

このほか、一人は保育所にも幼稚園にもはいらないが、もう一人は保育所に……といったようなケースも、同じような意味で、その家庭は保育に欠けない家庭とみなされます。

以上は一例ですが、保育に欠ける要件は、このほかにもあります。保育所は、公立私立を問わず国が八割、県と町がそれぞれ一割の負担で運営されているため、保育に欠ける要件の認定については国から厳しく指導を受けていますので、適正な認定に基づく入所を実施しています。

したがって、たとえ定数に余裕があっても違法入所は許されません。

以上の点、ご理解いただき、ご協力をお願いします。

どうなる長浜・上関 フェリーの出資金

声：「長浜・上関フェリー」は現在廃止されていますが、このフェリーの発足当時、町民の有志が町長および町の勧誘、あっせんにより出資して株券を入手しましたが、フェリーが廃止された現在、出資者一人一人に対してこの出資金の賠償につき町から何の連絡もありません。

フェリー会社の責任もさることながら、出資のあっせん指導を企

画した町の責任も当然あるはずであり、何の償うちもなくなつた株券を保管して、資金に困っている町民も多く、株主の一人一人に対して、町からの連絡、指導がなされるべきではないかと思ひます。

……商業・三十五歳の町民

お答え：ご指摘の株式募集、企画、あっせんなどは、当時の会社設立発起人（代表 故我与之進）と会社設立後のフェリー会社がこれを行ったのであり、町が行つたものではありません。



社の中に当時の町長、助役が個人の肩書きで参画されていたものですから、町による行為と受け取られたので

でしょうが、この長浜・上関高速フェリー株式会社は、当時の町の地域開発計画、つまり、企業誘致、フェリーポート、鋼船ドックの三ポイントからなる地域開発計画がある中で、よりスムーズな設立をみた民間会社です。

誘致されたり設立されたものが町管化されたものであれば別ですが、そのようなものではありませんので、あくまでも行政機関は行政機関であり、民間企業は民間企業で、町の施策と民間企業の経営問題は別問題です。この点ご理解の上、種々の疑問や問題は、以後は同フェリー会社へお願いします。

入浴料を無料に

90歳以上にはお祝いを

声：町内居住の七十歳以上のお年寄りに、次のような福祉優遇策を実施してください。

- また、さらに福祉対策を推進してください。
- ①：町内の浴場に月三回くらいの無料入場券または割引入場券を発行すること
- ②：歳末におモチ代として一千元を支給すること
- ③：九十歳以上のお年寄りに、お祝い金またはお祝い品を、町から差し上げること

お答え：①については、浴場が旧町内に二か所だけで他の地区にはなく、遠方から入浴に来られる人はごく一部で少数と考えられます。また、家庭に浴場のある方もあり、全般的な老人福祉対策として

町内に「青少年旅行村」を

年旅行村」を

声：長浜町内、たとえば出石寺ふもとや柴部落付近に、青少年旅行村を新たに設置すべく、運輸省に働きかけてもらいたい。

この旅行村というのは、過疎地域の振興をはかるのがねらいで、過疎地の町村が事業主体となり、キャンプ場、広場、釣場、海水浴場、遊歩場、民宿、町営の宿泊所などをつくるという構想であって

長浜町のように毎年人口が減少してゆく、いわゆる過疎地域に属す

しては若干問題点があると思ひますので、むしろ低所得者対策として進めるべきで、その範囲を定めて実態調査を行った上で検討すべきだと思ひます。このほか、世帯更生資金などの借入促進をはかつて、自宅の浴場建築などを勧めることも考えられます。

- ②：については、とりあえず現在は七十五歳以上の方を対象に「高齢者福祉年金制度」を定めて毎年敬老の日に支給しています（四十九年度は一人当り三千元）
- ③：については、現在予算化はしていませんが、よいことだと思いますので検討します。

ところで、老人福祉対策は、福祉行政の中でも最も重要な行政の一つです。国でも年金制度の改善や医療費の無料化などが進められています。町でも皆さんのご意見を尊重しながら、財政の許す限り積極的に取り組んでゆきます。

町の振興には、よい対策であると思ひます。

この青少年旅行村は、もちろん一般の人でも利用できるというものです。

……長浜町民A生

お答え：「青少年旅行村」の施設整備は、昭和四十六年度に運輸省が開始した事業ですが、この事業は今年度で終了し、続いては「家族旅行村」（仮名）の整備事業にとりかかる見通しですので、これら国の施策との関係のみで検討をしてみます。建設的なご意見をありがとうございます。

職員録

本庁職員の人事異動を6月1日におこないました。

その結果はこの表のとおりです。どうぞよろしくお願ひします。



本採用職員204人
臨時職員5人

本
庁

◆総務課

課長 森 議
課長補佐 高橋 亮

◆(庶務消防係)

係長 高橋 亮
主事 山下 朝子
書記 山下 朝子
技手 山下 朝子
婦人交通指導員 稲垣美恵子
用務員 神内百合子

◆(企画・財政係)

係長 山本 勝延
書記 和正 正義

書記補 脇 あつ子

◆(公車管理係)

係長 窪 憲一
技手 成田 信重

◆会計室

室長 上川 万敏
書記 宮岡 亀古
政所 友邦

◆議事事務局

局長 平井 源一
書記補 上地 末子

◆文書広報課

課長 藤岡喜代夫
課長補佐 波多野 進

◆(文書係)

係長 西山 進
書記 横道 里見
書記補 友沢みつ子
技手 矢野上和雄
城戸 広美

◆(有線放送電話係)

係長 波多野 進
技手 大野 泰俊
技手 三浦 義直
技手 都築 小富
技手補 橋本 真弓

◆(広報係)

係長 山下 国広
書記補 重松 直博

◆(公社電話交換係)

技手補 久保美恵子

◆商工課

課長 二宮 一雄
課長補佐 山崎 一義

係長 (商工振興係)
山崎 一義
主事 仙波 久枝
書記補 城戸 茂利

◆農林水産課

課長 久保 弘
課長補佐 河野 平吉

◆(農政係)

係長 河野 平吉
主事 久保 博道
書記 藤岡 勝子
書記補 上満 治雄
二宮 正昭
亀田 稔
久井 一

◆(林業・水産係)

係長 笹本 栄一
書記補 三秋 敦司
井上 智子

◆(農地係)

係長 中田 晋
書記 山根 勇一

◆開発課

課長 泉 芳信
課長補佐 渡辺 敬

◆(開発係)

係長 渡辺 敬
書記 久保田健市
書記補 村上レイ子
西山 健市

係長 (調査係)
下田 健三
書記補 菊地 英夫

◆建設課

課長 兵頭 信男
課長補佐 上田 邦彦

◆(管理係)

係長 仲田 源一
主事 榎尾ハツ子
書記 田中 宏幸
上田 邦彦

◆(建築係)

係長 丸山 寿一
技手 佐々木晋一
技手 森川 純行
技手 菊地 洋一
技手補 山本 安広
楠野 茂利
中田 圭助
森内雄二郎

◆(工務係)

係長 丸山 寿一
技手 佐々木晋一
技手 森川 純行
技手 菊地 洋一
技手補 山本 安広
楠野 茂利
中田 圭助
森内雄二郎

◆水道課

課長 坂井弥八郎
課長補佐 真鍋 典秋

◆(庶務・工業用水道係)

係長 真鍋 典秋
主事 大野 智
書記 松本伊代子
技手補 清水 俊三

係長 (工務係)
木下 保利
坂東 敏幸
小林 吉安

◆衛生課

課長 磯尾多喜夫
課長補佐 小川 平

◆(衛生係)

係長 小川 平
書記 宮本 啓子
書記補 山本多喜男
石本紀美子
西本 幸雄

◆(国保係)

係長 藤沢 豊彦
書記 清水 文子
村上 隆志
浦上恵美子

◆(環境係)

係長 平田 友幸
技手 草川 勝義
技手補 久保 義道
一宮 義道

◆(住民税係)

課長 酒井 義典
課長補佐 友沢 敏

◆(住民税係)

係長 友沢 敏
書記 西田 孝
書記補 井上 裕重

係長 (収納係)
矢野 敏子
日野 忠則
浪本 忠則

◆住民課

課長 日田 稲生
課長補佐 池上 昭夫

◆(福祉係)

係長 池上 昭夫
書記 山根カヨ子
書記補 吉田 直人
万代 明美

◆(年金係)

係長 小石 玉子
書記 叶本 正

◆(住民係)

係長 宇都宮 寛
主事 大元 宗一
書記 中野 貴夫
書記補 松本 治子
兵多やす子

◆教育課

課長 石丸 英雄
課長補佐 宮田 猛義

◆(総務係)

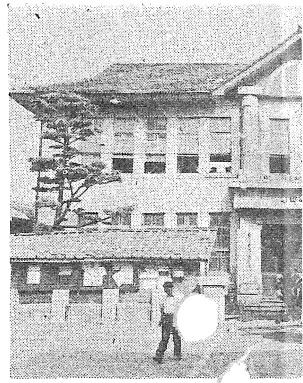
係長 隠岐 龍法
嘱託 久保 七郎

係長 (学校教育係)
山本 辰雄
書記 都築 住江

23人を異動

開発課長に 泉
建設課長に 兵頭

町職員の定期人事異動を
六月一日付で行いまし
た。
今回の異動は、菊地町長



特別職員 4人・本
嘱託職員 6人・臨

どうも
お

◆連絡所

◆公民館

◆隣保館

◆保育所

◆社会福祉協

主 任 洲尾 計邦
(喜多難連絡所)

主 事 洲尾 計邦
(今坊公民館)

書記補 久保 文章
(長浜隣保館)

所 長 山本美智子
(長浜保育所)

所 長 西宮 幸子
(出海保育所)

主 任 植杉 岳志
(衛生連絡所)

主 事 植杉 岳志
(衛生公民館)

書記 洲尾 計邦
(今坊隣保館)

主任保母 西岡 房子
(長浜保育所)

主任保母 萩森理恵子
(出海保育所)

主 任 植杉 岳志
(相生連絡所)

主 事 植杉 岳志
(相生公民館)

書記 植杉 岳志
(衛生隣保館)

保 母 友永由美子
(長浜保育所)

保 母 池田 満恵
(出海保育所)

主 任 上田富喜男
(豊茂連絡所)

主 事 西岡 敏博
(大和公民館)

書記 植杉 岳志
(長浜隣保館)

技 手 東本 千鶴
(沖浦保育所)

技 手 泉 友江
(大和保育所)

主 任 宇都宮芳文
(白滝連絡所)

主 事 上田富喜男
(豊茂公民館)

用務員 寺坂 満子
(長浜中学校)

技 手 浪本 満子
(沖浦保育所)

主任保母 谷川 俊子
(大和保育所)

主 任 新田 道夫
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

所 長 西山 逸子
(沖浦保育所)

主任保母 大藤 恭子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

書記 大國 尚子
(長浜中学校)

主任保母 永尾 弘子
(沖浦保育所)

主任保母 西田 清子
(大和保育所)

技 手 岡田 好光
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 大野ギン子
(沖浦保育所)

主任保母 三好 五月
(大和保育所)

機 関 長 立脇 順二
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 吹春みね子
(沖浦保育所)

主任保母 菊地さと子
(大和保育所)

甲 板 員 松下 武晴
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

所 長 大野 勇
(建設課港湾係)

主 事 新田 道夫
(白滝公民館)

用務員 坂井 英雄
(長浜中学校寄宿舎)

主任保母 山本 智子
(沖浦保育所)

主任保母 水沼栄美子
(大和保育所)

の就任期間が少ないため、職員に対する十分な理解が得られていないことから、当面必要のある部署だけの異動に留め、その数は二十三人という小規模なもの。
そのおもな内容は、土居課長の退職で、この四月から空席になっていた建設課長に開発課長であった兵頭信男。また、開発課長には、これまで同課課長補佐であった泉芳信を昇格。さらに同課課長補佐には、これまで教育課長補佐であった渡辺敬を配置するとともに、開発課調査係長であった大野智を水道課に昇格異動、後任係長に、これまで中央公民館主事であった下田健三を昇格配置した。
一方、教育課長補佐の後任には同課の社会教育係長であった宮田猛義、同課総務係長に、これまで社会福祉協議会に所属していた隠野事務専門員をそれぞれ昇格配置した。
このほか、住民課と衛生課の課長補佐を交替。港務所長(建設課港湾係)の木下係長を水道課工務係長に、水道課の大野勇係長を後任の港務所長(建設課港湾係)にしたほか、喜多難連絡所に洲尾計邦、出海連絡所に西岡敏博の若手を配置した。
なお、今回の異動と合わせて一部職名を変更、「事務専門員」を「主事」に、「技術専門員」を「技師」と改めました。



泉 開発課長

出 先 機 関

園 長 池田又一郎
園長補佐兼生活指導員 藤本 富雄
書記 富下紀久重
看護婦 平田由美子
看護婦 鶴岡ユリ子
看護婦 上田ミドリ
看護婦 永木喜美子
看護婦 清水 藤子
看護婦 大野 良子
看護婦 富岡トシコ
看護婦 山中イチエ
看護婦 一藤 豊
看護婦 一宮トモエ
看護婦 峯 佐予子

嘱 託 新江 政雄
嘱 託 三石むめ志

所 長 山本コトエ
主任保母 池田スミ子
主任保母 矢間栄津美
主任保母 藤瀨美枝子

所 長 下田 美澄
主任保母 田村 恒子
主任保母 友永 悦子
主任保母 梶本 幸子
主任保母 合田 智代
主任保母 岡崎美智子

園 長 池田又一郎
園長補佐兼生活指導員 藤本 富雄
書記 富下紀久重
看護婦 平田由美子
看護婦 鶴岡ユリ子
看護婦 上田ミドリ
看護婦 永木喜美子
看護婦 清水 藤子
看護婦 大野 良子
看護婦 富岡トシコ
看護婦 山中イチエ
看護婦 一藤 豊
看護婦 一宮トモエ
看護婦 峯 佐予子

園 長 池田又一郎
園長補佐兼生活指導員 藤本 富雄
書記 富下紀久重
看護婦 平田由美子
看護婦 鶴岡ユリ子
看護婦 上田ミドリ
看護婦 永木喜美子
看護婦 清水 藤子
看護婦 大野 良子
看護婦 富岡トシコ
看護婦 山中イチエ
看護婦 一藤 豊
看護婦 一宮トモエ
看護婦 峯 佐予子

施設改善など要望133件

新会長に三宮邦氏

区長会・総会開く

住民と町のパイプ役を果たし、日ごろいろいろな活動に専念されている区長さんの昭和五十年区長会と区長会総会が十五日、町体育館で開かれた。

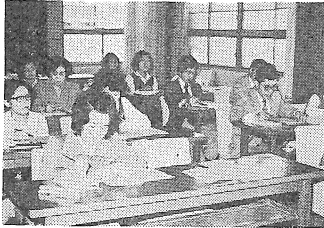
まず区長会では、今海、大和、豊茂、白滝の七支部から生活環境の改善、施設整備についてなど百三十三件の要望事項が町に対して出されたほか、区長会から国道三七八号線昇格にともなう建設の早期着手、区の統廃合の推進や事務の効率化改善について要望が出された。

この百三十三件に対する町の回答は近く文書で行うとともに、改善処置できる個所はすぐ実施していくという姿勢で、こ

よい職員めざし 場 役 て初任者研修会

公務にたずさわる者として必要な基礎知識を身につけ、住民福祉の向上に効果的な奉仕ができるようにと、昭和四十四年度から町では新しく採用した町職員を対象に「初任者研修会」を開いています。

研修内容は、町三役と各課長が講師で地方公務員法、地方自治法、財務規定、処務規定、町勢の概要、施政方針、各課事務分掌などを研修



公務員として必要なことを研修する初任職員

するほか、目で見える研修として町内の公共施設の見学をさせるなど。

今年度は四十九年度の同会終了後に採用した本庁職員三人、保育所職員九人、老人ホーム職員三人、なぎさ寮職員二人の計十七人が五月十二日から十六日までの五日間、毎日午後一時から四時までの日程で全課程の研修を終了しました。

「少しでもよい職員に…」の願いが実ってほしいもの。



望まれる町理事者お発表する町長から各支部長に傾ける町長。各事項に各課長より

二宮区長会長

引続き開かれた区長会総会では、四十九年度会務報告、運営費の決算報告や五十年年度予算などが、それぞれ承認されたほか、区長会長と監事二人の選出が行われ、すでに役員会で決っていた二十五人と合わせ二十七人の全役員が後記の通り決まった(任期は二年)。

このほか努力目標として①町県民税、国民年金保険料、使用料の完納意欲の向上に務める②町民全体が健康で豊かな美しい町づくりのため衛生思想の普及と啓蒙に努める③犯罪、交通事故のない町にするため町民総ぐるみで防止に努める④みんなで築く明るい社会を目的に人間関係づくりと社会福祉増進に努力することを確認し合った。

長二宮邦(豊茂)、事務局(以上長浜)▽長浜地区理事岸本才一(支部長)、東月、高岡伸好、明関定市、新山明津、石岡伸市、佐々木庸一▽今坊地区理事上田秋義(支部長)、池田吉行▽櫛生地区理事山崎藤一郎(支部長)、石山勝行、沢井義兼、本田高博▽出海地区理事平田三盛(支部長)、参河政史▽大和地区理事池田政治(支部長)、西内清喜▽豊茂地区理事二宮邦(支

かっていきたい。また区の統廃合は、日本各地の事情と同様に町内でも過疎過密地区があるので、慎重に内容を検討し地域住民の協力のもとに解決を図り、事務の簡素化も役場内の各課を通じて負担を極力軽くするよう、さらに努力していきたい」と答え、町の姿勢を示した。

65点か人賞

シイタケ共進会

長浜町青年団員のソフトボール大会と卓球大会が、五月十八日(日)長浜中学校グラウンドと同体育館で行われた。

町内各団七チームが出場、熱戦の結果は次の通りとなった。

ソフト 衛生 青年団が優勝
卓球 大和

△ソフトボール▽優勝衛生、二位大和、三位長浜。△卓球▽優勝大和、二位豊茂、三位長浜。優勝チームは六月八日の郡大会に出場。

シイタケ審査評

選別今一つ慎重に 出品物の品質については生産技術が年々著しく向上しており、乾燥、選別についても研究努力の跡が伺われ、上下の差は非常に少なく優劣がつけがたかった。

しかし、一部のものについては若干問題点があるので参考とされたい。

①銘柄区分で他の銘柄品の混じったものが見られた。今後は今一步選別を慎重に②品物の粒ぞろえも大きいものと小さいものの混じったものが見られたので注意されたい③「つかみどころ」については今少し技術的に研究が必要④乾燥不足や乾燥もどりのものが見られた。乾燥は基本的な問題なので格別に注意されたい。

一部で粗雑、雑菌、林内伏せ

恒例の「長浜町シイタケ共進会」が五月十二日、長浜町体育館で開催された。

ことし第七回を数える同共進会会場には、町内のシイタケ生産者二百二十一世帯のうちから出品された百九十一一点のシイタケ(どんこ百六十六点、こうこ二十八点、こうしん五十七点)と、ほだ木六十八点が展示され、生産者や関係者でにぎわった。

また、午後からは入賞者の表彰式が行われ、特賞から努力賞まで合わせて六十五点の表彰が行われた。(入賞者は八ページの通り)ところで、この表彰に先がけ、今回の審査委員長である八幡浜農事務所大洲出張所の武田林業課長から次の通り審査報告があった。

生産者の方は参考にされ、さらによいシイタケづくりにいそしんでいただきたいもの。

総体的には努力の跡が見られ非常に優秀。しかし、一部のものは今一步のもの、地域によっては成績の上下が見られる。参考までに申し上げます①今坊の峯今坊、日の浦、無事喜地、橋立地区では作業の粗雑さが②須沢、出海地区ではダイダイタケ、トウガレなどの雑菌の多いものが③豊茂の明東地、下村AとB、奥・朝日、下須戒の郷、穂積の大久保地区では林内伏せしたものが見られ成績不良なものが見られた。



「イヤー、気なくさみですよ」と注文の豆をいる岩竹さん

ホホー！！

町内には二人だけ、もう一人は柴の谷本さんとか。いや郡内でもほとんどいなくなつたと言われるほど少なく珍しい存在となつた。

また、八幡浜などからのお客さんもあるということなので、なおそう思わせる。

「お客さん」というと、いかにも専門の商売のようだが、もともとこれを本業にとか、もうけつてやろうとかいう気持ちで始めたのではない。十年ほど前、本業をやめる人の機械道具を当時二千五百円で買ってしまい、ま、少しでも生計の足しになればというくらいでなるとなして始めたという。当時は町内でも十組ほどいたが、このようにならぬらしいもうけより、他の職業の方がおもしろうもうけられるとかで、次々と姿を消していったようだ。

町内には二人だけ、もう一人は柴の谷本さんとか。いや郡内でもほとんどいなくなつたと言われるほど少なく珍しい存在となつた。岩竹さんの話だと、岩竹さんや新谷、と岩竹さんや新谷、おぼちゃんとも呼ぶそう。二十歳後半代以上の人なら、街子があるけん、めつたに豆は持つて来んぞね。一升や二升の豆でわざわざカマはたけんきん、ためていらんといけん」という。町内の一般では「豆いりさん」と呼ぶようだが、岩竹さんのことを近所の子どもたちは「ドンパンのおいちゃん」と呼び、奥さんのヨミチさんのことを「ドンパンのおぼちゃん」とも呼ぶそう。角や神社の広場などで出張営業する豆いりさんに豆をいってもらつたことのある人は少なくないはず。まるで爆弾が破裂したかのようなドドンパン！！というものすごい音がする。あの音の調子が豆のはじきぐあいを決める。カマの中に豆を入れ、これをクルクルと手で回しながら、まき火であぶる。やがてカマが熱し豆がいられてくる。カマの手元についた圧力計のハリがカマの中の圧力を

知らせる。トウモロコシなら目盛11、大豆は5、5、そら豆6.5、米8、1といふことで、ハリがこの目盛へくると、今がちょうどいいぞ、それ、フタをあける、このほかに火加減、時間などの関係もあり、なかなかころあいがむづかしい。そしていよいよフタをあける。堅く締めたフタ止めを棒でたたきはす。このときがもつとも大切。カマの中の圧力を一気に抜くことが、あのすざまじい音を出すヒケツ。たたきそこねるととぎれとぎれに圧力が抜けたりと音も悪く、豆もうまくはじけない。いり賃は現在一升につき二百円だそうだが、甘味などをつける二百五十円也とか。

「修理代やサッカリン代も高うなつて、もうけにはならん」「昔はリヤカーで積んで、大和や八多喜などあちこちへ行きよつたが、今はもう足も痛いし……」と話す

ドンパン豆いり

岩竹亀男さん (75歳)

今どき珍らしいと思わせるこの豆いり。それはなつかしさこそばくさの味わいであろう。この珍しいものが、一日も長く残ってほしいものだ、一部の豆いりファンとともに、はたの私たちも感じる。

訂正：前月号の本欄の記事中「昭和二十八年二十三歳のとき」とあるのは「昭和九年二十三歳のとき」の誤り。
ご訂正ください。

表彰

第7回長浜町シイタケ共進会入賞者

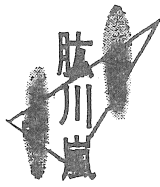
- ▽どんこの部 Ⅱ【特賞】大野亀則(大越) Ⅰ【特賞】藤田栄一(下須戒) 藤田坂喜(穂積) Ⅱ【特賞】一宮松子(戒川) 大野善子、清水秋雄(以上戒川) 楠野政子(豊茂) 加納勝敏(須沢) Ⅲ【特賞】小西考夫、菊地徹、増田勝利(以上豊茂) 西村雄(上老松) 増田大洋、村上興一(以上櫛生) 小西竹男(下須戒) 鈴木光男(出海) 久保貞夫(戒川) 武地喜佐雄(穂積) 増田公介(豊茂) 【努力賞】岡田光明、藤岡多美子(以上下須戒) 西山弘三(今坊) 増田成虎(豊茂) 松田勝、宮本増憲(以上戒川) 中島亀延(柴) 大野幸衛(大越)
- ▽こうしんの部 Ⅱ【特賞】菊地徹(豊茂) Ⅰ【特賞】徳山峰子(柴) 楠野孝行(豊茂) Ⅱ【特賞】菊地千代子(豊茂) 水沼惟孝(出海) 上満武友(柴) 【三等賞】東伊佐男(今坊) 西山正美(戒川) 中田利久(大越) 渡辺恭一、上田キヨコ(以上豊茂) 田中晋(須沢)
- ▽一般ものどんこの部 Ⅱ【特賞】林野庁長官賞 増田大洋(櫛生) Ⅲ【特賞】小西考夫(豊茂) 【奨励賞】藤田栄一(下須戒) 加納勝利(須沢)
- ▽一般もの茶花どんこの部 Ⅱ【奨励賞】大野亀則(大越)
- ▽箱ものどんこの部 Ⅱ【奨励賞】大野貞良(戒川) 【努力賞】水本治年(豊茂)
- ▽一般ものこうしんの部 Ⅱ【奨励賞】久保貞夫(戒川) 【努力賞】上田虎雄(豊茂)
- ▽一般ものこうこの部 Ⅱ【奨励賞】上田論(豊茂)
- ▽箱ものこうこの部 Ⅱ【努力賞】徳山峰子(柴)

統計

49年度の転入転出

転入=1日に1,7人

転出=1日に1,9人



梅雨(つゆ)の季節が終われば本格的な夏だ。7月ともなると、ぼつぼつ台風が訪れ始める。つゆを「さみだれ」ともいい、台風は「野分」といって昔の人は歌や俳句や詩などに優雅な取扱いをしている ▲ところで、現在は大雨だ台風だという、やれ防災対策が後手後手だ、乱開発が災害を助長するのだ、道路が痛んで事故を起こした、すぐ賠償せよ、といったような殺伐なことばかりが耳にの飛びこんでくる ▲昔の本を読んでみると7~8百年も前から話に、世は末法に入った、人間の言動には真実が少なく浮薄軽ちよう、救われ難い時代になったと世を嘆いた文章が相当に目につく。それでも明治、大正生まれの人々は自分の生まれ育った時代を古き良き時代とよび、現代を義理人情地に墜ちた断絶の時代と嘆く ▲春夏秋冬、梅雨や台風が年々歳々同じ繰り返しであるように、人の心の時代を眺める目もまた同じように繰り返されるものであろうか。だが梅雨の雨も台風の雨もすべて地球上のあらゆる動植物を生かす根本の天からの貰い水。年々歳々あらゆる事が同じことの繰り返しであろうとも、水を大切に、水をきれいに、感謝をして使う努力と心掛けだけはただの一日もゆるがせにはできない。水を治める者はよく国を治めるとは中国古聖賢のことばであるが、この季節に当たって正に名言。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう。



	6月1日現在	前月との比較
人口	13,831人 (男 6,556人) (女 7,275人)	6人減増 (5人増) (11人減)
世帯数	3,951世帯	2世帯減

ありがとうございました

◎出海小
学
校
創
立
百
周
年
記
念
專
業
委
員
会
：
エ
レ
ク
ト
ニ
ン
オ
ー
バ
一
台、
ヘ
ッ
ド
・
エ
ビ
プ
ロ
ジ
ェ
ク
タ
ー
一
台、
1
6
型
カ
ラ
ー
・
テ
レ
ビ
七
台

ビデオテープ・レコーダー一台
放送施設一式、ベルタイムマー
台、ギター十丁、テープレコー
ダー一台、図書二十冊を出海小
学校へ。

◎衛生小学校創立百周年記念事業
実行委員会：カラー・ビデオカ

セットコーダー一式、エレクト
ン一台、トランプアップ一台
ワイヤレスアンテナ一式、20型カ
ラー・テレビ一台、16型カラー
テレビ一台、ステージ用幕六
枚、校訓碑一基、車庫一棟、小
鳥舎一棟を衛生小学校へ。



小さな親切
滝内昇さん

白滝の滝内昇さん(五七)は、この五月二十五日、全国小さな親切運動本部から、小さな親切実行賞を受けました。
滝内さんは、予讃線の列車内で子ども連れのお年寄りに席を譲られて感謝され、このことに対して同実行章が贈られたもの。
町内でタバコを買っていたいだいたおかげで、四十九年度に町の台所にはいったタバコ消費税は、一千九百七十七万七千二百三十円もありました。今後もタバコは町内で……。



5月長浜町後場届出分(敬称略)



今月のトップは高崎久良・竹美さんのカップル

結婚

住所 氏名 婚姻届時年齢

大洲市	下須戒	長浜	長浜	伊予市	高崎	松山市	奥村真佐子	松山市	稲田与嗣二	大洲市	高崎	長久	竹美
森山	高岡	村中	村中	伊予市	田本	小倉	只吉	松山市	奥村真佐子	長久	久信	久信	久信
越本	加志	川博	川博	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎
明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美	明美
(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)

大洲市	下須戒	長浜	長浜	伊予市	高崎	松山市	奥村真佐子	松山市	稲田与嗣二	大洲市	高崎	長久	竹美
泉岡	黒田	田本	田本	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎	高崎
恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子	恵子
(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)	(二二)

おくやみ 5月届出分(敬称略)

住 氏名 死亡時年齢

白滝	上老松	下須戒	出海	桐生	沖浦	長浜	仁久	住所	兵頭	虎夫	(六二)
新	山本	藤岡	小西	宮吉	宮吉	宮吉	宮吉	宮吉	宮吉	宮吉	(六二)
コ	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	(六二)
ト	太	太	太	太	太	太	太	太	太	太	(六二)
エ	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	(六二)
	(六六)	(六九)	(八三)	(八四)	(八五)	(八二)	(七四)				

お誕生おめでとう!! 5月届出分(敬称略)

住 氏名 続柄 児名

豊茂	豊茂	上老松	出海	桐生	沖浦	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜	長浜
清水	小西	佐々木	叶岡	安藤	岡野	東山	周勝	俊行	清秋	清明	幸雄	三男	裕生	加代	岩城	一磨	長女	加代
長男	長男	長男	長男	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	長女	三男	三男	二男	二男	二男	二女	二女
廣樹	秀司	健	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美
(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)	(長)

編集後記

四、五ページは少し掘り下げたものを、と企画しているのですが本号も恒例の町職員録に食われてしまいました。といって職員録も商店の方たちなどには、案内ご利用いただいているようですので、紙面における年に一度のあいさつを兼ねて、今度も載せてゆきたいと思っております。
久々に声の箱への投書が多く、二、三ページが皆さんとの問答でいっぱいになったことを精らしく思いました。
くらしを見直そうと訴えられた二ページ「こんにちは」の池田さんのご意見、ほんとうにお互い真剣に考えてみなければなりません。さて、いよいよ長浜の夏。暑さなどに負けないよう、よく寝、よく食べ、よく働きましょう。